

第19期一般陸曹候補生及び 令和4年度第2次自衛官候補生 入隊式



大津



松山

中部方面混成団（団長 青井 常治1等陸佐）は、令和4年10月1日（土）大津駐屯地、10月2日（日）松山駐屯地において、第19期一般陸曹候補生63名（男子57名、女子6名）、自衛官候補生79名（男子65名、女子14名）に対する入隊式を挙行了しました。

すがすがしい秋晴れの中、部内外来賓及び隊員のご家族をお迎えして、国歌斉唱、申告、宣誓、執行者式辞等の順で入隊式は進行了し、松山駐屯地では第14音楽隊による音楽演奏が式典に花を添えました。新隊員は、真新しい制服に身を包み、緊張した様子でしたが、着隊から約1週間という短い期間で精悍な顔つきとなり、きびきびとした動作で元氣よく服務の宣誓を行い、自衛官及び自衛官候補生としてのスタートを切りました。

立会官として参列した混成団長は、「自衛隊における教育訓練や営内での生活は、戸惑ったり厳しく感じることもあると思うが、3カ月間の教育を全員が修了できるよう、本日から心機一転ししっかりと努力を継続してもらいたい。諸官に要望する事項は、『心技体の充実』であり、将来、自衛隊が日本を防衛し、国民を守るかどうかは諸官の今後の成長にかかっている。本日から3カ月後、修了式において、諸官が逞しく成長した姿を見ることを本当に楽しみにしており、今後の健闘に期待する。」と訓示しました。

教育は12月下旬まで約3カ月間にわたり行われ、令和5年1月に中部方面隊管内の部隊へ配置されます。

かけはし

第52号

令和4年10月12日

団長統率方針
任務の完遂
団長要望事項
創意と情熱
心技体の充実

駐屯地司令
要望事項
作戦基盤の確立
環境の改善
地域との連携



web site

隊員自主募集優秀部隊

中部方面混成団（団長 青井 常治1等陸佐）は、令和4年8月30日（火）中部方面総監部 伊丹駐屯地において、中部方面総監 堀井陸将から隊員自主募集優秀部隊として第3級賞状を受賞しました。



表彰状



集合写真



表彰楯



表彰状授与

優秀隊員紹介

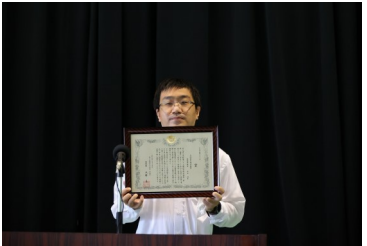
大津駐屯地司令（青井 常治1等陸佐）は、令和4年8月5日（金）に、駐屯地朝礼を行い、勤務優秀隊員及び課程教育成績優秀者の紹介を行いました。

第4陸曹教育隊 庄司准尉及び播磨曹長は、外柵を乗り越えて侵入した部外者を発見し、警衛隊と連携を図り侵入者を確保するとともに、再発防止を促す等、他隊員の模範であるため、駐屯地司令よりメダルが授与されました。

また、業務隊総務科 木全事務官は、小平学校で実施された第63期幹部賠償・補償課程に教育入校し、成績優秀により小平学校長から表彰されました。



庄司准尉（左）と播磨曹長（右）



木全事務官

給食実務臨地実習

大津駐屯地は、令和4年8月29日（月）から9月2日（金）に、京都光華女子大学健康栄養学科管理栄養士専攻3年生に対する臨地実習を、大津駐屯地業務隊 糧食班が支援し、給食実務に関する倫理を実践により理解させることに尽力しました。

実習を経験された林さんと中島さんから「野菜を切裁する作業が思っていた以上に多く大変でしたが、自分たちが考えたメニューを美味しく食べて頂けて嬉しかったです。」と答えてくれました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、約3年ぶりの受け入れとなったが、実のある教育実習となりました。



林さん（左）と中島さん（右）



実習中の状況

サマーキャンプin大津



大津駐屯地は、令和4年7月26日（火）から7月27日（水）に、10コ地本46名（男性38名、女性8名）の参加者を受け入れ、方面隊施策「募集広報の日」の一環として「サマーキャンプin大津」を開催しました。

初日は、第47普通科連隊の格闘訓練展示を皮切りに、ラウンドロビン方式により、救急法、歩測、コンパスの使用法及び囲壁・綱登りの4課目を全参加者に教育し、その後、夜間にチームミッションに取り組み、各グループ毎協力して指令に基づき指定コースを地図判読しつつ、現出する状況を克服しながら1時間ほどで無事に全チームがミッションをクリアしました。

2日目は、グループ討議により参加者間の親睦を図り、隊員との懇談により指導部の隊員と参加者が話すことで部隊生活を含む入隊した場合のイメージアップや不安解消を行いました。

参加者からは、「チームミッションを行い仲間と連携が大切な事を学び、とても充実した時間でした。」と大変好評でした。

109 第109教育大隊 第31代大隊長 本田 2 佐着任

着任大隊長紹介

主要勤務歴

第7偵察隊	小隊長（東千歳）
第72戦車連隊	運用訓練幹部（南恵庭）
第2戦車連隊	中隊長（上富良野）
大阪地方協力本部	募集班長・中央地区隊長
中部方面総監部	報道班長（伊丹）
兵庫地方協力本部	募集班長
中部方面総監部	総務班長（伊丹）
中部方面混成団本部	第1科長（大津）



ほんだ なりひろ
2等陸佐 本田 成弘
和歌山県 昭和44年生まれ



中部方面混成団

第10代副団長 石田 1 佐着任

着任副団長紹介

主要勤務歴

第35普通科連隊	中隊長（守山）
第12旅団司令部	訓練班長（相馬原）
陸上幕僚監部	教育訓練部器材・演習場班（市ヶ谷）
第10師団司令部	第2部長（守山）
中部方面総監部	人事課長（伊丹）
第50普通科連隊長兼	ねて高知駐屯地司令（高知）
幹部候補生学校	総務課長（前川原）
豊川駐屯地	業務隊長（豊川）



いしだ ゆうじ
1等陸佐 石田 祐司
愛知県 昭和42年生まれ

准陸尉 門坂 英幸



准陸尉 岡部 隆宏



中部方面混成団 第6代最先任上級曹長を勤められた門坂准尉は、滋賀地方協力本部（総務幹部）へ御栄転されました。また、第7代最先任上級曹長に、岡部准尉が着任されました。

中部方面混成団 最先任上級曹長 離着任



2等陸佐 有馬 靖
第109教育大隊 第10代大隊長を勤められた有馬2佐は、第49普通科連隊 副連隊長として御栄転されました。

第109教育大隊長 有馬 2 佐 離任



1等陸佐 大澤 満
中部方面混成団 第9代副団長を勤められた大澤1佐は、8月1日付けをもって定年退官を迎えられました。

中部方面混成団 副団長 大澤 1 佐 退官 お疲れ様でした



陸曹候補生代表 答辞



執行者に敬礼

第4陸曹教育隊（隊長 木場 元大1等陸佐）は、令和4年7月4日から開始した陸曹候補生課程教育を修了しました。7月4日から開始した第141期陸曹候補生課程約160名と第141期（2次）陸曹候補生課程約160名の合計約320名の入校者が、それぞれの教育を修了して、原隊復帰し、じ後の初級陸曹特技課程において職種専門教育に進んでいます。

第4陸曹教育隊 陸曹候補生課程卒業式



陣地攻撃



第11陸曹候中級課程卒業式

第4陸曹教育隊（隊長 木場 元大1等陸佐）は、令和4年8月21日から23日の間、信太山演習場において第11期陸曹中級課程総合訓練を実施しました。訓練は、徒步行進に引き続き、小銃小隊・分隊長等の実指揮能力の向上及び戦闘員の基礎を体得させることを目的に行われました。また、令和4年9月2日第11期陸曹中級課程の卒業式を実施し、約130名の隊員が部隊等の原動力として活躍しています。

第4陸曹教育隊 陸曹中級課程 総合訓練及び卒業式

第49普通科連隊

令和4年度第2次連隊野営

第49普通科連隊（連隊長 後藤 義之1等陸佐）は、令和4年7月27日から31日の間、あいはらの演習場において令和4年度第2次連隊野営訓練を実施しました。訓練は、第47普通科連隊、第33普通科連隊、第10戦車大隊、第10高射特科大隊、第7施設群及び第306普通科直接支援中隊の支援を受け、28日に夜間に約30km徒歩行進、20日に警戒部隊の駆逐及び戦車部隊との共同訓練、29日は各中隊における補備訓練を行いました。連日の猛暑の中、厳しい訓練により、各隊員は体力の限界に挑戦し、全員が任務遂行の使命を持ち、任務完遂に努めました。連隊は、この成果を今後の即応予備自衛官教育に反映し、連隊検閲に向け常即一体となり訓練に精進します。



普戦協同訓練



警戒部隊の駆逐



第47普通科連隊

令和4年度第3次連隊野営

第47普通科連隊（連隊長 松本 哲治1等陸佐）は、令和4年9月15日から19日の間、日本原演習場において令和4年度第3次連隊野営（情報小隊・狙撃班検閲）訓練を実施しました。統裁官訓示では、共通事項として「任務に基づいた常即一体での部隊行動の実施」と「安全管理」を要望しました。訓練は、情報小隊が小隊本部と斥候組に分かれて行動し、迅速に現地の地形・地物に合わせた隊形をとりながら、認識の統一を図った後、速やかに潜入を開始し、情報収集及び必要箇所に応じての敵情等の共有を行い、部隊行動を円滑にしました。また、狙撃班は、各組ごと隠密に潜入し、敵指揮官等を発見、即座に射撃を行い敵の指揮系統を混乱させる等の任務を完遂しました。連隊は、引き続き、即応予備自衛官と常備自衛官との間に培った信頼関係を日々の訓練を通じて更に深化させていくとともに、部隊の精強化に邁進していきます。



指揮官等を狙撃する隊員



命令下達中の情報小隊員